

《第4次岐阜県教育振興基本計画》 ◆「『ふるさと岐阜』で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人」の育成 ・《自立力・共生力・創造力》 《東白川村教育目標・教育夢プラン》 ◆村を愛し、よりよい生涯と社会を築くために、心豊かにたくましく生きる人間性の育成 ◇第3次教育ビジョンの推進と、その延長上にある義務教育学校への転換準備を計画的に行う	《学校課題》 ○生徒一人一人に自己有用感を積み上げ、「夢や希望のもてる生徒」の育成 ○自ら判断・行動し、協働して取り組む態度の育成 ○主体的・対話的で深い学びの実現 ○地域や少人数の特性を生かし、ふるさとを愛し、ふるさとの未来と自己の生き方を見つめる生徒の育成
--	--

学校のエデュケーショナル・ゴール

〈 自ら 〉 求め 鍛え 高めあう
～胸が張れる学校・胸が張れる生徒～

目指す生徒像

確かな学力	豊かな人間性	健やかな心と体
☐ 自他のよさや可能性を生かし、主体的、協働的に学びを深める生徒 ☐ 多様な課題に対応できる、資質・能力を身に付けた生徒	☐ 自己のよさや可能性を認識し、多様な他者と協働できる生徒 ☐ 集団や社会の一員として、自主的・自律的に諸活動に参画する生徒	☐ 自他の心身の健康について考え、健康保持・増進や体力の向上に進んで取り組む生徒 ☐ 思いを素直に表現できる生徒

指導の重点

◎最重要 ○重点

◎深い学びを実現する授業改善 ・学びたい、必然性のある課題 ・出口を明確にした単元構想 ・見通し→追究・対話→振り返り ・習得・活用・探究の学びの過程 ○個に応じた確かな学力の定着 ・自己選択・判断の場の設定 ・自ら学習を調整する力、学習習慣 ・好き・得意の芽を伸ばす指導 ・ICTの効果的な活用 ○コミュニケーション能力の強化 ・読書に親しむ環境づくり ・意図的な話す場の設定 ◆「授業がよく分かる」→90% ◆「課題解決に自分で考え、自分から取り組んでいる」→90%	☆東中4本柱の指導 『挨拶』『掃除』『合唱』『授業』 ◎学校・学級文化の創り手となる活動 ・願い→行動（自己決定）→振り返り ・自立を意識・価値あること（本質）の追及 ・異学年交流活動の積極的推進 ○「考え、議論する道徳」の実践 ・多様な考え方や出会い交流する授業 ○高い人権意識の高揚 ・違いを理解し、互いを尊重する活動 ◎地域と願いを共有し共に創る学びの充実 ・体験重視 ・本物・本質に学ぶふるさと・キャリア教育 ◆「学校に来ることが楽しい」→3.5 100% ◆夢や目標をもっていますか→50% ◆「自分にはよいところがある」→80%	◎自己管理能力の強化 ・生活習慣を見つめる活動 ・自律的なメディア利用 ・生徒会とのタイアップ、自立を意識・価値あること（本質）の追究 ・食育、歯科、性に関する指導 ○体力・運動能力の向上 ・運動に親しむ機会の充実 ○教育支援体制の充実 ・生徒指導交流による共通指導 ・小学校、保護者、関係機関との連携 ・SC等専門家との連携強化 ◆学校事故・交通事故＝0 ◆就寝1時間前ノーメディア→50% ◆さわやか情報モラル→3.50
---	---	---

学校・職員のスタンス

教育の理念『自啓・創造・協同』

① 生徒一人一人を大切に、常に資質の向上に努め、学校(学級)で胸が張れる教師 〈使命感と責任、学び続ける教師、確かな指導力 勤務の適正化 確かな社会認識、危機管理〉 ・「全ての生徒が主役（自己判断・自己決定の場）」の原則 ・「どの子にも」と「この子には」の視点 ・気づく(聴く)、つく(関わる)、つなげる(広げる) ・地域の人、物、施設を積極的に生かす ・東白川中だからこその教育実践 ② 保護者や地域の願いを大切に、地域で胸が張れる教師 〈家庭・地域との連携、小学校との連携、地域クラブとの連携、積極的で、親密な対話、情報発信、保護者、地域と願いを共有〉 ③ 社会の一員として、自身の地域、家庭でも胸が張れる教師 〈ワークライフバランス、自身も地域の一員として役割を果たす、地域社会人〉
--